

令和5年1月17日

統計トピックスNo. 135

我が国の人口重心

— 令和2年国勢調査結果から —

人口重心とは、人口の一人一人が同じ重さを持つと仮定して、その地域内の人口が、全体として平衡を保つことのできる点をいいます。

国勢調査では、全数調査の利点をいかし、市区町村よりも小さい単位である町丁・字等や基本単位区（全国で約200万）別の集計を行っており、細かな地域分析を行うことにより、公共施設の適切な配置などの行政施策などに活用されています。

今回、令和2年国勢調査に基づく基本単位区別の人口を用いて、全国及び都道府県の人口重心について取りまとめましたので、御紹介します。

なお、各市区町村の人口重心についても、インターネットに掲載しております。

URL：<https://www.stat.go.jp/data/kokusei/topics/topi135.html>

要約

1 我が国の人口重心は、南東へ約2.2km移動

- 我が国の人口重心は、東経137度03分20.44秒、北緯35度34分03.64秒。岐阜県関市立^{むぎ}武儀小学校（東経137度00分40.60秒、北緯35度35分08.15秒）から東南東へ約4.5kmの位置
- 2015年の人口重心に比べ、南東へ約2.2km移動

2 首都圏及び近畿圏の各府県の人口重心は、おおむね東京都、大阪府の方向へ移動

- 首都圏及び近畿圏の都府県の人口重心についてみると、一部の県を除いて、首都圏の各県は東京都の方向へ、近畿圏の各府県は大阪府の方向へ移動

注) ここでいう「首都圏」とは、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県及び山梨県を指し、「近畿圏」とは、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県及び和歌山県を指します。